



綠陽

財団法人同友会 藤沢湘南台病院
藤沢訪問看護ステーション
介護老人保健施設藤沢ケアセンター
在宅介護支援センター
藤沢湘南台病院居宅介護支援センター
健康増進施設 ライフ メディカルフィットネス
発行者 財団法人同友会
〒252-0802 藤沢市高倉2345
TEL 0466-44-1451
E-mail:shounandai@mvg.biglobe.ne.jp

**患者様に選ばれる
病院づくりを目指して**



藤沢湘南台病院 事務部長 **角 田 高 春**

皆さん初めまして、今年も早4ヶ月が過ぎ新緑の美しい季節になりました。また、私が事務部長に就任しましてから丸1年が過ぎました。まだまだない所がありますがよろしく願います。

さて、病院の組織は大きく分けて診療部、看護部、事務部に分かれています。事務部は、更に総務課、経理課、人事課、施設・資材課、医事課等に分かれています。

医事課は、1号館受付等で皆様と接することが多いかと思いますが他の課は余り接する機会が無いかと思っています。どのような仕事をしているかと申しますと患者様がスムーズに診察が受けられるように人の配置や物品購入、施設の維持や新しい診療（例えば結石破碎装置、マルチスライスのCT導入、健康管理センター等）を行う時に関係官庁に提出する書類などを作成しています。

現在、藤沢湘南台病院が重点課題として取り組んでいるのが「教育施設としての質の向上」です。実は、院長・名誉院長の号令

の下でその活動は一年前から始められています。今年の初めには日本外科学会の外科専門医の修練施設としての認定を受けています。認定を受けるまでには、申請書類の作成はもとより、人員（指導医・専門医）の配置、施設の整備（図書室、病理部の設置等）、手術台などの整理など様々な作業を行わなければなりませんでした。

次に目指しているのが、平成十六年度から医師の臨床研修必須化に伴う臨床研修病院指定取得の為の準備です。臨床研修は、内科を始め外科、麻酔科、救急医療、小児科、産婦人科、精神科及び地域保健・医療などプライマリケアの基本的な診療能力を習得する為に二年間にわたって行うものです。医師としての第一歩であり、その後の医師としての生涯に大きな影響を与えることから臨床研修病院が社会的に大きな責務を負うことになります。

臨床研修病院の施設基準は先程の外科専門医制度と重複するところもあります、その他に組織的

な病歴管理、文献データベース検索、医学教育用資料機器の整備、医療安全の為の対策等挙げると切りがありません。医療安全対策などは早期から診療部、看護部、事務部共同で取り組んである程度成果を出しているものもあります。が、今一步の項目も少なくありません。

このように皆様方に見えない部分で、信頼され安心して受診・入院できる病院作りに職員（事務部）一同励んでいます。今後皆様方のご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



近年増加傾向にある 炎症性腸疾患について

内科 藤田 裕 次



若年の腹痛や下痢を繰り返す患者では多くの場合、腸の機能的な問題で（腸の動きや知覚がバランスを崩しているという意味）治療は主に对症治疗となる。そのなかでしばしば見逃されているのが炎症性腸疾患とよばれるもので、狭義には潰瘍性大腸炎やクローン病がそれにあたる。上記のような症状に発熱や下血、体重減少などが伴った場合は医師、患者とも注意しやすいが、症状が非常に軽い場合もあり筆者も腹痛が精神的要因と考えられていた担当患者に一年経ってからクローン病の診断がついた経験がある。また関節痛や結節性紅斑という発疹で発症することもあり、膠原病とされ、消化管が調べられていないこともある。

西暦2000年にはクローン病で約2万人、潰瘍性大腸炎で約6万人の患者が登録されており、近年になり増加傾向にある。決して希とは言えない疾患群である。大腸内視鏡検査が診断の決め手になることが多く、気になる方は一度検査を受けられるとよいと思う。

病因は未だ解明されていないが、患者個人の素因に環境因子、化学物質、ストレスなどが加わり、本来生体を防御すべき免疫システムが患者の消化管を攻撃のターゲットとしてしまうことにより発症すると言われている。従来の治療ではこの免疫を全身的に抑制する方向の治療が行われていたが、最近になり、生体の免疫機構のどの部分が異常を来しているか、どの物質が過剰生産されているかが少しずつ明らかになり、こ

れらをターゲットとした特異性の高い治療も臨床応用されつつある。

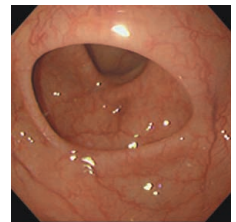


図1

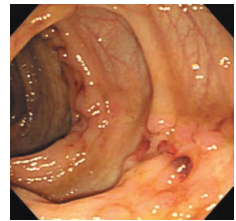


図2

潰瘍性大腸炎は主として大腸に炎症を起こし、粘膜主体の浅い炎症であることが多い。（図1：正常大腸粘膜、図2：潰瘍性大腸炎）罹患部位より直腸炎型、左側結腸型、全大腸型に分類される。症状としては腹痛、血便、下痢、発熱だが、クローン病より下血が目立つようである。治療は、サラゾピリン、ペンタサが基準薬となり、副腎皮質ホルモンの内服、静注、注腸などで治療される。難治例では免疫抑制剤を使用することもある。近年では炎症の源となる白血球を一定の割合で体外循環フィルターを使用して除去する、顆粒球除去療法を当院でも導入し良好な成績を収めている。緩解期には特別の食事制限は不要である。重症や長期間病状が安定しない患者では、大腸を全摘する手術もある。発症から八年から十年経つと大腸癌が出来るようになるが、生命予後は一般の人と大差はない。

一方、クローン病は、主として小腸と大腸が罹患するが、胃や十二指腸、口、肛門にもびらんや潰瘍が起きる。深い炎症が起こり、狭窄や腸管同士の短絡、多臓器への

穿通（腸と他の腸管や臓器とのトンネル）が出来やすく小さな膿瘍（膿の固まり）も出来やすい。（図3：クローン病の潰瘍）このようなことから



図3

潰瘍性大腸炎よりも手術を受ける患者が多い。症状は出血が比較的少ないが他は潰瘍性大腸炎と同様である。緩解期でも食事療法が重要で特に一日20g以下の脂肪制限が緩解維持率を優位に上げたという研究がある。治療は食事、成分栄養療法が主となるが、サラゾピリン、ペンタサも使用され、副腎皮質ホルモンも使われる。最近になり白血球同士や細胞、組織間の伝達信号の役割を果たすサイトカインと言う分子を制御する治療薬が開発され（抗TNFα抗体など）効果を上げている。こちらも生命予後は一般の人と大差はない。

双方とも厚生労働省の特定疾患に指定され、難病とされてきたが、罹患数の増加から珍しい病気ではなくなり、さらに近年の研究治療のめざましい進歩により（近い将来臨床応用されると思われる治療薬が十数種類ある）根治は望めないものの簡単な治療で健康な人と同じ様な生活が送れる患者が増えると考えられる。語弊があるかもしれないが、我々は、症状は辛いが薬でコントロールでき、十分な社会生活を営める花粉症のようにこの病気とつきあえる日がそう遠くないと考えている。

～ プールでKICK&PUNCH ～

プールでKICK&PUNCHとは？

水の中で、パンチやキックなど格闘技の動作を取り入れ、それらを組み合わせて全身の運動をしています。

どんな効果があるのか？

筋強化、主に瞬間的に動く力としての瞬発力や転倒防止などのバランス調整力に対して効果的にアプローチされていきます。

そして何よりも、楽しく動いてストレス発散、心身共に健康づくりをめざします。

ぜひ一度参加してみてください。

4月より新しいプログラムを
開始しました。



毎週水曜日、20:00～20:30 に開催しています！



MEDICAL FITNESS

TEL.0466-46-3000 FAX.0466-46-3077
URL <http://www.fj-shounandai.or.jp/life/>
E-mail life@fj-shounandai.or.jp
営業時間 月～木・土 9:00～22:00
日・祝日 11:00～19:00
金 休館日

プールで キック あんど パンチ

其の壱	素早く動く也	(瞬発力向上)
其の貳	平衡調整也	(バランス感覚)
其の参	精神的負荷発散也	(ストレス解消)
其の四	老若男女問わず也	(誰でも)
其の伍	水中格闘技術！？	(キック&パンチ)

ぜひ一度ご参加ください。

緑陽100号記念アンケート結果報告

前号で行いました、緑陽100号記念アンケートに多数のご協力を頂きましてありがとうございました。アンケート結果につきましては、集計して紙面作りに役立たせております。今号ではアンケート結果の公表をさせていただきます。

「Ⅰ. 現在、3ヶ月に一度の頻度で発行していますが、緑陽はどのくらいお読みになっていますか？」の設問については、約9割の方が毎号もしくは時々読んでいるとの回答でした。2001年の1月号から、それまでの月刊から季刊としてカラー化しました。内容も一新した物が徐々に定着してきた結果の表れだと思います。

「Ⅱ. 緑陽の中で印象に残った記事を教えて下さい」の設問については回答が分かれていましたが、一番多かったのが98号で扱った、70周年記念号での「藤沢湘南台病院の歴史」でした。これは、鈴木病院に始まり、神奈川高座病院を経て現在に至った過程が写真で掲載されており、懐かしく思われた方も少なくないと思います。その他にも、斉藤副院長が書いた「骨粗鬆症について」や、高尾医師が書いたソルトレイクオリンピックを振り返る「ソルトレイク2002氷上のドラマの陰に」やライフメディカルフィットネスを特集した「“未来医療”それは“良い習慣”から始まります」などが多かったです。

「Ⅲ. 今後、緑陽で扱って欲しい内容について」の設問では、最新の医療ニュースがトップとなり、ついで運動・健康について、看護・介護の技法について、薬についての順でした。ご意見として、「患者様や看護師の声を上げる場があれば」などの意見もありました。これらの意見を踏まえて、今後の紙面作りをしていきたいと思っています。

今後も、読者アンケートを続けながら、皆様に読んで頂ける紙面作りをしていきたいと思っていますので協力お願い致します。

外来診療予定表

平成15年 5月 1日現在

科 目		月	火	水	木	金	土	
内 科	午前	消化器科	清野 小谷	藤田 松本	高橋 藤田	藤田 松本	有田 小谷	高橋 清野
		循環器科	川口 下山	森 生駒	武居	川口 住田	森	武居 川口
		糖 尿 病	天門	天門	天門			
	午後	消化器科	高橋 有田	清野 有田	川名	高橋 小谷	藤田 松本	
		循環器科	武居	石上	森	森	武居	
		呼 吸 器 内 科				庄司		
		神 經 科		鳥家	佐藤 (第1・3・5週) 上原 (第2・4週)			
		在宅包括医療 入所前健診				深野 分部		
	外 科	午前	一般外科	田村	深野 熊切	鈴木院長 田村	鈴木院長 深野	佐々木
大腸肛門科				深野	鈴木院長	鈴木院長		鈴木院長
午後		一般外科	熊切	山本	【手術】	熊切	山本	
		呼 吸 器 外 科	熊切			熊切		
		食道外科			小泉名誉 院 長			
形外 成科	午 前						三上	

科 目		月	火	水	木	金	土
泌尿器科	午前	諏訪	諏訪	加藤	諏訪	加藤	諏訪 又は加藤
	午後	【手術】	加藤	加藤	諏訪	【検査】	
眼科	午前	永瀬	日比	堀 永瀬	堀 永瀬	堀 永瀬 日比	永瀬
	午後	永瀬 仙田	佐藤	永瀬	永瀬 仙田	日比	
皮膚科	午前	菅	小原	掛水 第3週は休診	保坂	大岡	
	午後	掛水	小原	掛水	保坂	大岡	
脳外 神経科	午前		三壁			竹本	
整形外科	午前	齊藤副院長 齊藤(幸) 大沢 長谷川	齊藤(幸) 大沢	齊藤副院長 大沢 太田	長谷川 太田	高尾 太田	齊藤副院長 大沢 齊藤(幸) 又は長谷川
	午後	太田	【手術】	福田	【手術】	齊藤(幸)	
健康スポーツ部	* 初 約制 も制	午前		高尾 福田		高尾	
		午後	齊藤副院長	【手術】	齊藤副院長 高尾	【手術】	齊藤副院長 福田

— 受付時間 —

■月曜日～金曜日 午前 8:30～11:00 (診療開始 9:00)
午後 12:00～ 3:00 (診療開始 1:30)
■土曜日 午前 8:30～12:00 (診療開始 9:00)
*土曜日午後、日曜、祭日、年末年始は**休診**です。

シャトルバス時刻表

平成15年 5月 1日現在

上土棚団地行					藤沢湘南台病院行				
藤沢湘南 台病院発	長後駅 西口着	蓮光寺着	綾南会 館前着		綾南会 館前発	蓮光寺発	長後駅 西口発	藤沢湘南 台病院着	
8 15	22	27	30		8 30	32	37	44	
9 45	52	57			9				
10			00		10 00	02	07	14	
11					11				
12 15	22	27	30		12 30	32	37	44	
13 45	52	57			13				
14			00		14 00	02	07	14	

上飯田・いちよう団地行					藤沢湘南台病院行				
藤沢湘南 台病院発	児童公 園前着	いちよう 団地着	集会場 前着		集会場 前発	いちよう 団地発	児童公 園前発	藤沢湘南 台病院着	
7					7 45	48	52	56	
8					8				
9 00	04	08	12		9 12	15	19	23	
10					10				
11 30	34	38	42		11 42	45	49	53	
12					12				
13 00	04	08	12		13 12	15	19	23	
14 30	34	38	42		14				

同友会ニュース

福祉講演会 長後市民センター
第15回 藤沢湘南台病院市民公開講座
前立腺ガンについて
前立腺ガンってどんな病気？
早期発見のために！



第15回 藤沢湘南台病院 市民公開講座

前立腺ガンについて

—前立腺ガンってどんな病気？早期発見のために—

講 師：藤沢湘南台病院 泌尿器科 諏 訪 裕 先生

日 時：平成15年 5月31日 (土)

開 場：13:30 開 演：14:00

場 所：長後市民センター 3階

問い合わせ：同友会在宅介護支援センター

TEL 0466-45-5005

お知らせ

- ・藤沢市基本健康診査が始まりました。対象は藤沢市在住で昭和20年4月1日以前に生まれた方です。当院では予約制で行っております。事前にお電話又は受付で予約をお取り下さい。
予約受付時間 月曜日～金曜日13:30～14:30 電話 0466-44-1451(代)
- ・SARSに感染の可能性のある方で受診を希望される方は、必ず来院前にお電話を下さい。